

<論文>

アメリカ陸軍省 Education Manual について

—戦後日本の「再教育・頭の切り替え」用に寄贈された教科書群の全容—

多 田 英 俊

令和4年3月11日発行
『戦後教育史研究』第35号（終刊号）抜刷

明星大学戦後教育史研究センター

正誤表

- p.69 19-20 行目 誤 1944 年 7 月 → 正 1944 年 5 月
p.76 図 11 誤 *Spoke Japanese* → 正 *Spoken Japanese*
p.78 7 行目 誤 Visual Aids Section → 正 Visual Aids Department
p.83 5 行目 (注)17 誤 International, Textbook Company
→ 正 International Textbook Company
p.84 12 行目 (注)44 誤 May 4, 1945 → 正 May 5, 1944
p.85 1 行目 (注)62 誤 *Justitute* → 正 *Institute*

関連資料については www.ongyoku.com/00EM/index.html をご参照ください。

<論文>

アメリカ陸軍省 Education Manual について

—戦後日本の「再教育・頭の切り替え」用に寄贈された教科書群の全容—

多田 英俊*

I. はじめに

本誌第34号「終戦直後の「米国軍寄贈USAFI発行EM本」について—嵯峨野高女旧蔵本の発見から寄贈経緯の明確化まで—」において、1948年1月に48万部231トンにおよぶ大量の米国軍隊研修所（United States Armed Forces Institute。以下USAFI）の教科書であるEducation Manual（教育教範。以下EM本）が全国の学校等に寄贈された経緯を詳述した⁽¹⁾。そこにおいて、EM本の寄贈が、日本人の再教育（reeducation）と頭の切り替え（reorientation）、すなわち戦後日本の民主化を遂行するため、連合国軍最高司令官総司令部（GHQ/SCAP）民間情報教育局（Civil Information and Education Section : CIE）の要請に基づいて行われたことを初めて明らかにした。現在各大学図書館等に大量に保管されているEM本は、「進駐軍の置き土産」などと捉えられ等閑視されてきたが、それらのうち表紙に「米國寄贈」「販賣禁止」印が押されたものは、上記の緊急かつ重要な施策を具体化する手段として寄贈されたものだったのである。

そこで、日本の民主化＝日本人の再教育と頭の切り替えのために有用とされたEM本とは、どのようなものであったかについて検討する必要が生じてくる。上記論文においても、「EM本について」との章を設けたが、紙面の都合上詳述することはできなかった。ゆえに、本論文はその欠を補う、すなわちEM本の全容を提示する役目を担っている。EM本に関しては、日本そして米国においてもまとまった記述は見出せないという事実があり、USAFIに関しては、上記論文に引用した小西昭之の記事とUSAFIカタログ第2版の抄訳が⁽²⁾、陸軍の非勤務時教育については、林雅代の論文で簡略な紹介があるのみである⁽³⁾。

EM本はUSAFIによる非勤務時教育を目的として作成されたが、その後、戦争終結時復員までの教育にも使用されるようになったので、USAFIがEM本を作成した経緯を確認する。なお、Education Manualと命名される以前の、米国軍隊研修所教科書（USAFI text）と呼ばれ識別番号を持つ教科書も含め一括してEM本とし、EM番号および書名のみを示して、著者および発行年は省略した⁽⁴⁾。

II. USAFIによる非勤務時教育

USAFIが運営していた通信教育は、陸軍の4種の教育訓練のうちの公式非勤務時教育

*京都府立嵯峨野高等学校司書教諭

(formal off-duty time instruction。以下非勤務時教育とする) であった⁽⁵⁾。アメリカ陸軍は「市民の軍隊」であり、正規軍以外の州軍・予備軍（予備役・徴兵）は市民に戻ることから、兵士への軍事訓練は必要だが、退役後の市民生活への適応も不可避であったためである⁽⁶⁾。

第一次大戦終結後、1919年夏までフランスに残留したアメリカ外征軍に余暇の活動支援を行っていたフォスディック（Raymond Fosdick）は、「士気は弾薬と同じくらい重要であ」り、教育を含むレクリエーションが有効であるとした⁽⁷⁾。第二次大戦開戦前、その経験をもとに1939年の動員規則（Mobilization Regulations）MR1-10 士気（Morale）においてレクリエーションを担当する士気局（Morale Division）の設置を規定し⁽⁸⁾、その後1940年7月、陸軍に設置された⁽⁹⁾。非勤務時教育についての明確な規定はなかったが、余暇でのレクリエーション中に含まれていたことになる。

1940年9月16日に成立した選抜徴兵法（Selective Training and Service Act of 1940）により、1941年7月には徴兵が開始されて学生の学業が中断されることとなり⁽¹⁰⁾、1941年3月に福祉とレクリエーションに関する陸軍海軍合同委員会（Joint Army and Navy Committee on Welfare and Recreation、以下JANC）の教育小委員会（Subcommittee on Education）が兵役中の兵士のための非軍事的教育を提案し⁽¹¹⁾、それを通信教育によっておこなうことが士気局長のオズボーン（Frederick H. Osborn）により検討され⁽¹²⁾、同年11月25日、陸軍参謀長が陸軍研修所（Army Institute）の設置を承認した⁽¹³⁾。陸軍研修所に関する陸軍規則（Army Regulations）AR350-3100には、設置の目的として軍務に有用な教育のほかに、兵役によって教育が中断された兵士の教育機関との関係を維持し、市民生活への復帰時にその教育を終えられるようにすることと、市民生活への復帰時の市民としての価値を向上させることの2項が挙げられ、1コースあたり2ドルで兵士が通信教育を利用できることとなった⁽¹⁴⁾。それまで教育部（Education Section）長だったヤング（William R. Young）が陸軍研修所の指揮官になり、教育部長にはハーバード大学教育学部長のスパルディング（Francis Trow Spaulding）が着任し⁽¹⁵⁾、オズボーンとともに非勤務時教育の拡充につとめた。

陸軍研修所は1942年4月1日に開設され⁽¹⁶⁾、国際通信学校（International Correspondence Schools）の教材を利用した64コースの通信教育を開始した⁽¹⁷⁾（図1）。コース教材は6か



図1 国際通信学校教材。図の冊子はUSAFIの印がある。

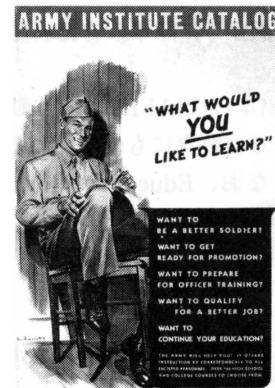


図2 陸軍研修所カタログ表紙

ら22の分冊からなり、一課終了ごとに試験等を返送し、陸軍と契約したウィスコンシン大学が添削をおこなった⁽¹⁸⁾。表紙に「何を勉強したいか?」(What would you like to learn?) という研修所のスローガンを載せた陸軍研修所カタログ (*Catalog of Army Institute*) には、同時に陸軍研修所が提供を開始した76大学のエクステンションによる445種のコースも掲載された⁽¹⁹⁾(図2)。

1942年7月のハワイ支部開設後、海外の支部は戦域の拡大につれて増加し、1946年1月には7ヶ所となっていた⁽²⁰⁾。1942年9月になると、陸軍の他に海軍、海兵隊、沿岸警備隊でも通信教育コースの利用が可能となったため⁽²¹⁾、1943年2月、陸軍研修所は名称を米国軍隊研修所へと変更した⁽²²⁾。部隊でのグループ学習 (class instruction) や学習センター (study center) の設置を規定した陸軍規則AR350-3100の改訂もおこなわれた⁽²³⁾。海軍でも非勤務時教育用冊子の中で、USAFIとEM本を紹介している⁽²⁴⁾(図3)。



図3 海軍発行小冊子。米国軍隊研修所EM本（自習用教科書）の紹介のページ。

USAFIの登録者数は最初の1942年には年間7,333件であったが、1945年第1四半期には54,931件に達し、1946年7月1日までの総登録件数は1,392,805件、総登録者数は1,362,266名となっていた⁽²⁵⁾。

III. 陸軍教育プログラム

選抜徴兵法により学生が召集されていたが、戦局の拡大に伴い1942年11月13日、徴兵年齢下限を20歳から18歳に下げる選抜徴兵法の改訂が実施され、その署名の際に大統領は軍委員会を設置し、兵役で教育を中断された兵士の戦争終了後の教育再調整計画を作成することを約束した⁽²⁶⁾。委員長の名をとってオズボーン委員会と呼ばれた兵士の戦後の教育機会に関する軍委員会(Armed Forces Committee on Postwar Educational Opportunities for Service Personnel)は1943年7月30日に予備的報告を提出し、戦争によって生じた教育面での不足を補うための経済的援助を提案した⁽²⁷⁾。一方、全国資源計画委員会(National Resources Planning Board)は1943年6月30日に提出した報告書「復員と再調整」(*Demobilization and Readjustment*)において、教育に関しては、職業訓練プログラ

ム、退役軍人のための兵役で中断した教育の継続、USAFIプログラムの継続、教育のための政府による経済的支援などのほかに、停戦後復員までの期間に訓練や教育を受けられるようになると、駐留地域で学習する機会を与え、復員後の学業復帰を支援すること、などを提案した⁽²⁸⁾。このあといくつかの法案が議会に提出されたが、最終的に1944年6月22日に復員兵の権利章典（GI Bill of Rights）と呼ばれる軍人再調整法（Servicemen's Readjustment Act of 1944）が制定され⁽²⁹⁾、退役後公費で教育を継続できることになった。

戦争終了時のための陸軍の教育計画は、1944年9月15日に出された再調整規則（Readjustment Regulations）RR1-4陸軍教育プログラム（Army Education Program、以下AEP）で具体的に規定され⁽³⁰⁾、対独戦終了後復員までの期間に勤務時間内での教育訓練をおこなうこととした。5年生程度の一般教育、または1つ以上の有用な職業または専門的技術、またはそのような技術につながる基礎教育を目的とし、部隊学校（unit school）での職業訓練・一般教育・識字教育、技術学校での専門職業訓練、米国大学センター（American University Center）での専門コース、民間の大学やカレッジでのコース学習を実施し、USAFIの教材を使用したコースでは20時間を1ブロックとして編成され、教材はUSAFIが配布を担当するとされた。対独戦勝利の1945年5月8日をはさんでAEPのための準備が進められ、1945年7月9日からイタリア（フィレンツエ）、フランス（ビアレット）、イギリス（シュリーベナム）に米国大学センターが開講され、1946年3月9日までに105,000人が受講した⁽³¹⁾。

1946年10月に陸軍の非勤務時教育施設は陸軍教育センター（Army Education Center）の呼称に統合されたが⁽³²⁾、太平洋陸軍（Army Forces in the Pacific：AFPAC）ではRR1-4によるプログラムが1947年10月以降も続いていた⁽³³⁾。

IV. EM本作成

郵送の困難な遠隔地など各地を絶えず移動する兵士にとって、頻回の報告の提出をする国際通信学校の教材は不便で⁽³⁴⁾、兵士の学力も幅があるために、陸軍研修所は開設直後から自習用教科書（self-teaching text）の使用を検討していた⁽³⁵⁾。1942年4月、オズボーンがJANCの教育小委員会に、陸軍研修所の自習用教科書を選択し作成するために必要な対応を要請し⁽³⁶⁾、1942年5月25日から陸軍との契約でインディアナ大学が4か月間⁽³⁷⁾、その後1942年9月からアメリカ教育協会（American Council on Education）が編集スタッフ（editorial staff for the Army Institute）を設置して自習用教科書の製作をはじめた。編集スタッフの長にはホートン・ミフリン出版社（Houghton-Mifflin）のスパウルディング（William E. Spaulding）が出向した⁽³⁸⁾。編集スタッフは専門家の助けを借りて、市販の標準的教科書の中から最も適した教科書を選択し、著者による自習用教科書への修訂を補助し、元の教科書を発行した民間出版社での印刷発行業務を監督した⁽³⁹⁾。当初の自習用教科書は、用紙も厚く表紙も頑丈で、角が折れないよう角を丸く裁断するなど製本にも手をかけたが⁽⁴⁰⁾、その後、紙の不足が進み紙質が低下し製本も簡略化したことは、現存のEM本において後期発行分の紙質が悪いことからも確認できる⁽⁴¹⁾。発行部数は最低で15,000部であった。

しかし、時間的制約により、予定したすべての教科書を自習用教科書として発行することができず、編集に時間のかからない標準的教科書のリプリント版－速成版（quickies）

と呼ばれたとして発行することとし、自習用教科書と同じ体裁で発行された。USAFIカタログ第2版には自習用教科書53コース、リプリント版24コースが掲載された⁽⁴²⁾。

その後も陸軍省からの資金で編集スタッフによる作業が続けられ、1943年9月、自習用教科書はEducation Manualという名称で発行されることが承認され⁽⁴³⁾、そのコース番号にEMを冠した。それまで編集スタッフの調達業務は非公式で、陸軍省が購入する数量を通知した上で出版社がEM本出版にかかる費用のみをもとに決定した価格で、通常の出版物と同様に購入していた。しかしこの時以降、EM本は副官部の出版部の仕様に従って編集され、出版社との契約は正式な主計係将校(Quartermaster)の規則に基づいて行われ、軍の購入価格は市販版価格の4分の1から5分の1であった。しかし、出版社はその著作権と紙型の独占的管理を保持しており、同一内容の市販版が発行された⁽⁴⁴⁾(図4)。

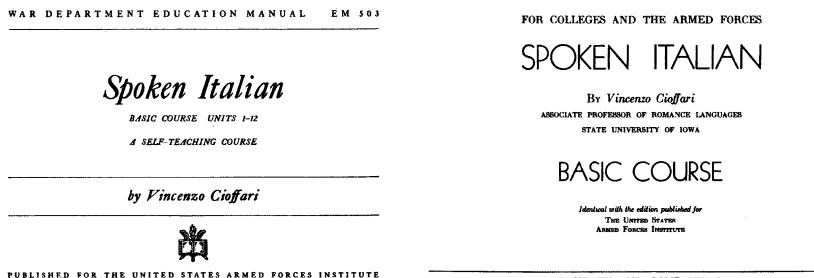


図4 EM503 *Spoken Italian units 1-12*(左)と同書の市販版(右)の標題紙。市販版にはUSAFIの版と同一と記される。

1943年11月1日に士氣サービス局(Morale Services Division)の特別計画部(Special Projects Branch)がAEPについての対応を開始し⁽⁴⁵⁾、1944年の初めから、編集スタッフはAEPの職業訓練コースの教材について陸軍の訓練学校の教材の利用を検討したが、戦時中の陸軍の業務は民間の職業での業務とは異なっていて利用できなかった⁽⁴⁶⁾。兵士の復員後の職業向けに民間の教材から選ぶこととし、1944年5月から農業、商業教育、技術教育、ビジネス教育の分野を調査し、AEPのための44コース55冊のリプリント版EM本が作られ、また、1944年6月からは指導者用コース概要(*Instructor's course outline*)の編集が始まり、翌年には205コースのうち200の原稿が集まつた⁽⁴⁷⁾。

EM本の発行状況についてアメリカ教育協会のズーク(George F. Zook)会長は、1944年7月の報告で1943年5月1日以降88の自習用教科書と113のリプリント版の作成を⁽⁴⁸⁾、1945年5月の報告で自習用教科書作成計画(self-teaching projects)での52コース75冊のうちの6冊の未発行を報告した⁽⁴⁹⁾。

EM本のサイズについては、市販版を元としたリプリント版は原本のサイズによるので一定しないが、18.6cm x 13.2cm (EM400 Physics)、21.3cm x 14.3cm (EM625 Preface to Philosophy: Textbook)、22.8cm x 14.8cm (EM998 Establishing and Operating Variety and General Merchandise Store)などのサイズが多い。EM900 Military Correspondence、EM901 Military Orders、EM725 Fundamentals of Typewritingなどは27.0cm x 20.0cmのレターサイズである(図5)。外国語会話教本(Spoken Foreign Language)は14.0cm x 20.0cmと横長で、本文は2段組および3段組である。上述のEM900、EM901やEM300

*Review Arithmetic, Textbook I*などは32ページほどの白紙が綴じ込まれていて、作戦戦域での用紙不足に対応して文書作成実習や計算用紙などに使用する目的であったと思われる。

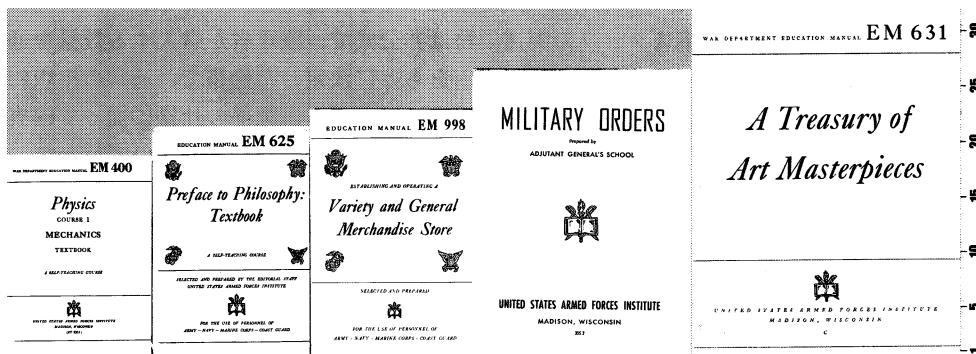


図5 EM本のサイズ。

EM本コース数と、そのうちの自習用教科書コース数は、USAFIカタログと1945年度USAFI情報速報 (*Information Bulletin*) によれば表1の通りであった⁽⁵⁰⁾。EM本を網羅的に掲載したカタログはAEP用の*EM1000 Class-Study and Self-Teaching Courses and Materials*が最初であり、318コースを掲載していたが、未発行のEM本も掲載されていた⁽⁵¹⁾。なお、USAFIカタログには掲載されなかったEM本、*EM417 How to Use Your Eyes at Night*がある⁽⁵²⁾。

表1 EM本発行コース数

	1944.3	1945.3	1945.7	1945.10	1946.1	1946.7	1947.10	1949.10	1953.4
総数	77	190	225	241	258	296	240	243	212
自習用教科書	53	68	81	93	108	136	131	126	107

アメリカ軍のヨーロッパ作戦戦域 (European Theater of Operation) では、AEPでの部隊学校用に、事前の調査で人気のあった27の基本コースを177万部、そのほかの198コースを244万部調達する予定となっていた⁽⁵³⁾。27コースのEM本で請求部数の多いものは、100,000部：*EM714 The Small Business course 1*、67,500部：*EM 500-501 Spoken French*、*EM518 Spoken German unit1-12*、50,000部：*EM415 Radio for Beginners*、*EM416 Electricity for Beginners*、*EM715 The Small Business course 2*、*EM728 Essentials to Business Arithmetic*、*EM912 Blueprint Reading at Work*、*EM950 Auto-Mechanics course 1*、*EM957 Better Foremanship*、*EM968 Carpentry*、*EM970 Mathematics for Technical and Vocational Schools*であった⁽⁵⁴⁾。1946年末のUSAFI業務部 (Operations Division) からの発送件数調査の上位は、*EM950 Auto-Mechanics I*、*EM700 Bookkeeping and Accounting course I*、*EM304 A First Course in Algebra part I*、*EM415 Radio for Beginners*、*EM400 Physics course I*、*EM300 Review Arithmetic Textbook I*、*EM305 A First Course in Algebra, Part II*、*EM714 The Small Business course I* であ

り⁽⁵⁵⁾、AEPではより実務的コースが選択されていた。

1945年2月から、ヨーロッパ、および地中海作戦戦域と太平洋戦域での需要予測に対応して約1,070万部のEM本の調達が開始されたが、その後、ヨーロッパ戦域はAEP用に1年分の在庫があるとして、約250万冊のEM本の注文をキャンセルした。米国内にも太平洋地区へ出荷予定のおよそ550万冊があり、さらに800万冊が1946年1月までに引き渡される予定であったという⁽⁵⁶⁾。AEPでの調達予定の変更は、対日戦終了を対独戦勝1年後とした予測がはずれしたことにもよる⁽⁵⁷⁾。

EM本は1946年以降も21コースが発行されたが⁽⁵⁸⁾、1950年12月14日からのコース番号システム変更でEM記号は廃止され、MA、MB、MCなどの記号によることとなり⁽⁵⁹⁾、1954年4月発行のカタログにはEM本は掲載されなくなったが⁽⁶⁰⁾、番号システム変更後も旧EM本はコース番号を修正して使用されていた(図6)。

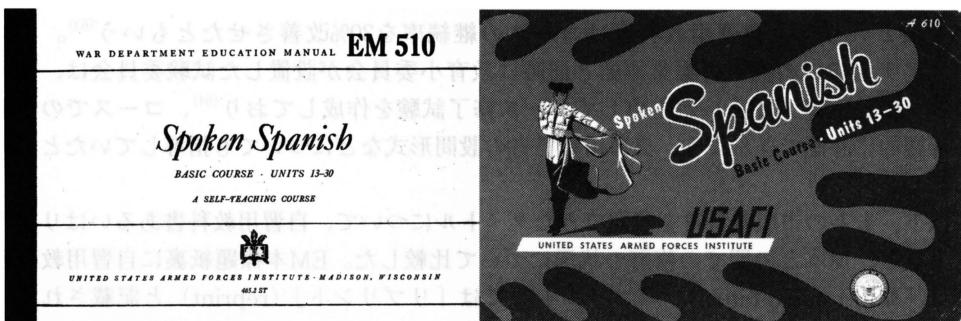


図6 EM510 Spoken Spanish units 13-30(左)とA610(右)。コース番号を変更した表紙以外は標題紙も含めすべて同一。

米軍寄贈EM本が余剰本(surplus books)として寄贈されたことを前論文で述べたが、米本国でも、復員兵の権利章典によって教育を受けている退役軍人に、余剰EM本を配布していた。議会図書館(Library of Congress)が1947年に作成した配布リストによれば、EM本149タイトル計170万部が、USAFIで使用していた国際通信学校教材やUSAFI用にリプリントされた標準教科書とともに配布された⁽⁶¹⁾。また、ドイツでも詳細な経緯は不明だが、米軍政府からドイツ学校システムへの貸与(Loaned to the German School System

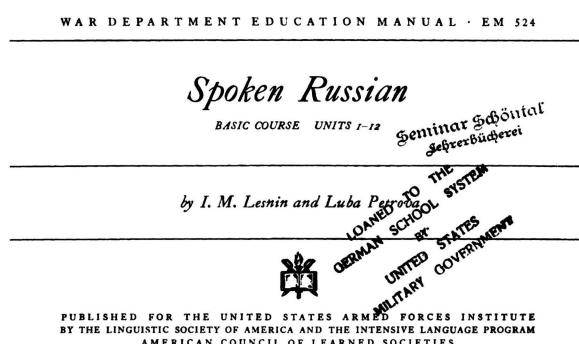


図7 米軍政府からドイツの学校への貸与印のあるEM524 Spoken Russian units 1-12。

by United States Military Government) の押印のあるEM本が残っている（図7）。

V. 自習用教科書およびリプリント版

EM本の多くは、標準的市販教科書をリプリント版あるいは自習用に修訂して発行した。とくに自習用教科書については、教科書に教師を入れるという自習用教科書の基本方針として、本来教師がおこなうはずの授業での動機付け、宿題、ガイダンス、補習、定期的評価などを教科書に盛り込む（put the teacher in the book）ということであった。このため、章ごとに多肢選択式設問を置き、客観的評価により学習到達度を自身で把握できるようにし、解答には参照ページを付して容易に再学習できるようにし、教科書以外に辞書などの補助教材なしでも対応できるよう、用語の整理をおこない、高校の1学期分に収まるよう、分冊にしてコースを分けて修了しやすくし、サイズも携帯に便利なように小型にしたという⁽⁶²⁾。自習用教科書はコースの継続率を30%改善させたともいう⁽⁶³⁾。インディアナ大学での教科書編集開始と同時に教育小委員会が設置した試験委員会は、タイラー（Ralph W. Tyler）が主導してコース修了試験を作成しており⁽⁶⁴⁾、コースでの学習を客観的に評価できるよう、自習用教科書の設問形式などについても指導していたと考えられる。

以下、もとの市販教科書を参照できたタイトルについて、自習用教科書あるいはリプリント版と、原本との間での修訂の状況について比較した。EM本標題紙裏に自習用教科書では「修訂」(adaptation)、リプリント版では「リプリント」(reprint)と記載されているが、その他表紙意匠による重版の分類(I、II、III、IV種)、標題紙裏の認証年月日については、ⅦおよびⅧを参照いただきたい。

自習用教科書

EM209 History of China：原本 *A Short History of the Chinese People*⁽⁶⁵⁾。初めに中国地理概要の1章を追加した。本文も修訂されて脚注が削除され、各章に要約、多肢選択式問題が付けられ、原本は260ページだが、EM209は320ページとなっている。

EM303 Review Arithmetic, Practice Book 2：原本 *Learning to Compute Book Two*⁽⁶⁶⁾。問題集で、原本のまま内容を二分して、*EM301 Review Arithmetic, Practice Book 1*と*EM303 Review Arithmetic, Practice Book 2*として発行した。自習用教科書とされているが、標題紙裏でもリプリント版としている。*EM301-303*はUSAFIへの改名前の陸軍研修所名での発行であった⁽⁶⁷⁾。*EM300 Review Arithmetic Textbook I, Whole Numbers and Fractions*も計算四則の問題集であるが、ともに米軍寄贈図書に選択された根拠が不明である。

EM400-402 Physics course 1-3：原本 *Modern Physics*⁽⁶⁸⁾（図8）。598ページの原本をEM本では352ページ、345ページ、314ページの3分冊に分割し、単元ごとに小問題、章ごとに問題を追加し、実験として駐屯地内で利用可能なものなどを使って単元の説明を確認できるようにもした。第1分冊には紙製の定規・分度器が添付された。原本にない、「数学のヒント」(Mathematical Pointers)として、物理での公式の意味、分度器の使い方などの説明、世界の計量単位一覧（第1分冊）などを補足し、さらに用語集が付録になっている。

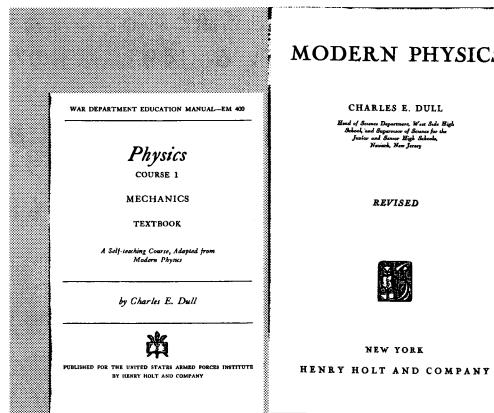


図8 EM400 Physics course I(左)と原本Modern Physics(右)の標題紙

EM616 How to Listen to Music : 原本 *The Appreciation of Music*⁽⁶⁹⁾。EM616ではレコード20枚がセットとなっている。序の代わりに「聴き方を学ぶ」(Learning How to Listen) が最初におかれ、本文もレコードの楽譜説明に合わせ改編され、ロンドの章では原本にないカルカソンヌの城壁の写真を追加して説明し、章末にクイズを設けている。コース修了試験案内はない。後述する一般教育用に作成された。

EM700,702,705,708,711 Bookkeeping and Accounting course 1-5 : 原本 *20th Century Bookkeeping and Accounting*⁽⁷⁰⁾。原本を5冊に分割している。簿記の例示は原本と同じ多色刷りで、章末のテストは原本のものがそのまま使用されている。各タイトルに実習用各種帳簿が添付され、セットになっている。当時USAFIでの教育内容に関心がもたれ、会計簿記分野のEM本について、原本となる市販教科書とともに紹介した記事がある⁽⁷¹⁾。

EM716, 717 Introduction to Business Law : 原本 *Introduction to Business Law*⁽⁷²⁾。標題紙裏では新規教科書とされている。原本の587ページを、350ページと349ページの2分冊とし、原本の第4章「Insurance」を第5章としてEM717に移動している。本文の版面は同一であるが、原本の章末のテストは原本の2ページを3から4ページに増やして選択

33. Essentials of Enforceable Contracts

In order that a contract may be enforceable by an action at law for damages, the following elements must be present: (a) Mutual Agreement, (b) Competent Parties, (c) Sufficient Consideration, (d) Particular Form (in some cases), (e) Legal Subject Matter. In addition to these five essentials the contract must be free from Mistake, Fraud, Undue Influence, or Duress. These elements will be examined and discussed in the chapters which follow.

TEST YOURSELF

Do You Know These Legal Terms?

Find the statement in Column B which correctly defines each term in Column A. Place the number of the term after its proper definition.

COLUMN A: TERMS	COLUMN B: DEFINITIONS
1. Executed contract	Meaning "the place of the seal."
2. Executory contract	Duties of a contracting party.
3. Express contract	An agreement which the law infers was intended to be a contract.
4. Implied contract	A contract in which something remains to be done.
5. Limitations	A contract which may be affirmed or rejected by one or both parties.
6. Oral contract	A contract expressed only in spoken words.
7. Tort	A contract whose performance has been fully completed by both parties.
10. Void	A contract in which the terms are defined and stated and agreed upon.
11. Voidable contract	Having no legal effect.
12. Will	[...]
13. Written contract	[...]

33. Essentials of Enforceable Contracts

In order that a contract may be enforceable by an action at law for damages, the following elements must be present: (a) Mutual Agreement, (b) Competent Parties, (c) Sufficient Consideration, (d) Particular Form (in some cases), (e) Legal Subject Matter. In addition to these five essentials the contract must be free from Mistake, Fraud, Undue Influence, or Duress. These elements will be examined and discussed in the chapters which follow.

WORDS AND PHRASES

Each of these words and phrases has some legal significance. What is it?

agreement	implied contract	seal
executed contract	legal remedy	undue influence
executory contract	mistake	unenforceable
express contract	obligations	void
fraud	price	voidable

QUESTIONS

Be able to answer these questions before proceeding to the cases and the problems at the end of this chapter

1. "All contracts are agreements, but all agreements are not contracts." Give examples which will explain the quotation.
2. Name five contracts you have made recently
3. What is an oral contract? Give an example of one.
4. When is it advisable to have contracts in writing?
5. What do you understand is meant by the term "damages"?

図9 EM716 p.53(左)では、原本p.48(右)で単に提示された術語を定義との組み合わせ問題に変えている。

式とし、確認のために列記してあった術語も、術語と対応する定義を選ぶ組み合わせ問題として、客観的に自己評価できるようにしている（図9）。原本の写真やイラストのページは削除されている。

自習用教科書については、EM本が市販されず、兵士以外の目に触れることが少なかつたため、民間の教育者に興味を持たれたというが、スパールディングは学校も教師もなしの環境に合わせて既存の手法を併用して作成されたもので、なにも新奇なものはないと述べている⁽⁷³⁾。

リプリント版

EM219 World History:原本*World History*⁽⁷⁴⁾。554ページを2分冊とし、序文を短縮し、見返しのカラー地図を削除した以外は同一である。

EM631 A Treasury of Art Masterpieces:原本*A Treasury of Art Masterpieces*⁽⁷⁵⁾。32.0cm x 25.0cmの大型本で、原本590ページのうちのカラー図版144図のみのリプリントで、序は改編されている。本書は一般教育用の一つとして、他の美術のEM本との同時使用を想定して作成された。

EM746 Business Filing:原本*Business Filing*⁽⁷⁶⁾（図10）。演習用のカード、カードボックスを含むpractice outfitが原本とセットでも販売されており、EM746にもpractice outfitが付属した。EM746では、序はコース修了試験案内を含めて原本と同じ2ページにおさめ、「Army Filing」と「Navy Filing」の2章が追加されたが、他は表紙意匠をふくめ本文も原本と同一で、両者同時に作成された可能性もある。

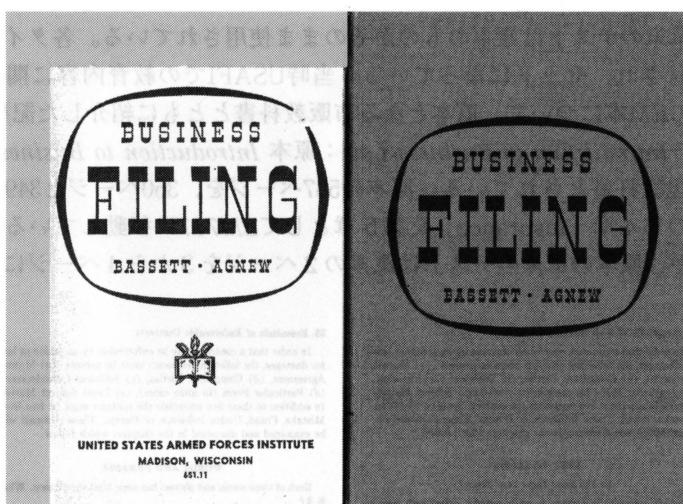


図10 EM746 *Business Filing* (II種) (左) と市販版(右)。本のサイズは異なるが版面は同一。

EM763 Economics: Principle and Problems:原本*Economics: Principle and Problems*⁽⁷⁷⁾。2分冊とし、改版序を削除した以外は同一である。EM763は新聞報道をもとに、共産思想の影響をうけていると議会で非難されたが⁽⁷⁸⁾、その際、陸軍省は本書選択の経緯を詳細に報道発表した⁽⁷⁹⁾。

*EM725 Fundamentals of Typewriting*は、EM本に原本が明記されない。軍用文書が高級副官部学校 (Adjutant General's School) の助力で追加されおり、リプリント版として

いるが、EM本は追加修訂されている。

VI. 新規作成教科書

USAFIの非勤務時教育やAEPの目的にかなった市販教科書がない場合、USAFIが独自に、また他の機関の助力を受けて、新たに自習用教科書を作成した。

英語学習書

EM100 English Grammar、*EM101 Mechanics of English*、*EM102 Building Good Sentences*のうち、*EM100*のみは原本についての記載はあるが⁽⁸⁰⁾、すべてスパングラー（A. I. Spangler）が著者で、標題紙裏ではすべて新規作成書として扱われている。いずれも兵士向けのイラストが多く入った教科書となっていて、*EM100*は1944年1月2日のニューヨーク・タイムズに多くのイラストも含めて紹介された⁽⁸¹⁾。また、*EM101*、*EM102*のイラストは当時陸軍にいて、のちに漫画Pogoを描いたウォルト・ケリー（Walt Kelly）が担当した⁽⁸²⁾。

外国語会話教本

*EM500-575*外国語会話教本（Spoken Foreign Languages）はオランダ語、ロシア語など、21の言語の口語会話教科書で、2冊の教科書と24枚のレコードがセットになっていた。陸軍では兵士が広く海外に派遣される中、1942年はじめから教育部（Education Branch）の言語係（Language Section）は陸軍技術教範TM30-300シリーズとして、2枚のレコードのついた56の簡単な言語ガイド（Language Guide）を作成した⁽⁸³⁾。これとは別に、1942年にJANCは兵士の派遣先の外国語会話の教育法の検討をはじめた。アメリカ学術団体評議会（American Council of Learned Society。以下ACLS）が、研究・教育の対象となっていたなかった外国語の教育法確立のために集中言語計画（Intensive Language Project。以下ILP）を立ち上げており、JANCが選んだ外国語について、編集スタッフが1943年春から作業をはじめ、ILPもJANCの会議に参加し、ACLSを通じてアメリカ言語学会（Linguistic Society of America、以下LSA）も協力するなど、広く学界の支援を受けていた⁽⁸⁴⁾。アメリカで学習されていたフランス語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語の4言語については、D. C. ヒース社（D. C. Heath and Company）の編集者が担当し、同社からUSAFI用と民間版が出版された⁽⁸⁵⁾。その他の言語の教本はACLSのILPとLSAの名義で、著作権者はLSAで、民間版はヘンリー・ホルト社（Henry Holt and Company）から発行された。マレー語などの言語については、言語学者がインフォーマントについて調査分析して、それにもとづいて教材を作成したが、ビルマ語を割り当てられたコーニン（William S. Cornyn）はまずビルマ語の話者を探すことから始めねばならなかったという。最初に発行された*EM506-507 Spoken Chinese*の著者ホケット（Charles F. Hockett）は中国語を知らなかったが、中国までの船旅に同行し、その間に兵站部将校に中国語会話を会得させたことが、当時タイム誌で報道された⁽⁸⁶⁾。口頭言語習得が目的であったため、漢字やハングルなどの文字は使用されなかった。当該外国語の話者である指導者用に、当該言語による指導者マニュアルも作成され、例えば羽根幹三らが作成した指導者マニュアル*EM563 Guide's Manual for Spoken Japanese*は528ページの漢字仮名交じり文の謄写印刷であった（図11）。

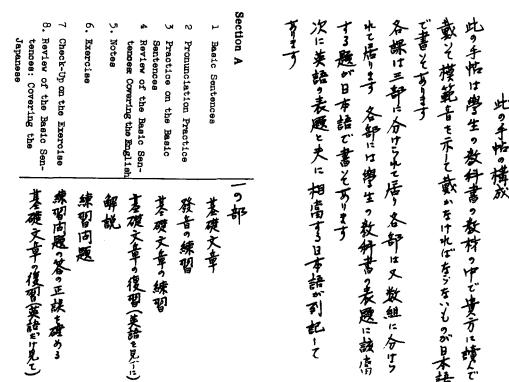


図11 EM563 Guide's Manual for Spoke Japanese, p.5 「此の手帳の構成」

音楽

*EM600 How to Sing and Read Music*は民謡を教材とし、歌を暗記させた後、音符などの楽譜の要素を教え、単純な旋律を読めるようにした。イラストが多く、レコード9枚が付属した⁽⁸⁷⁾。

農業

EM800 What is Farming?、*EM810 Managing a Farm*、*EM815 Livestock Farming*は農務省が作成した自習用教科書で、各章のはじめに学習ガイドが、おわりに自己点検が設けられるなど、EM本編集スタッフの方針に従った。いずれのタイトルも同時に農務省からも発行され⁽⁸⁸⁾、さらに*Managing a Farm*は民間出版社から改訂版が1946年に発行された⁽⁸⁹⁾。農業関連教科書は他に市販教科書のリプリント版もあった。

小企業経営

EM979-EM998小企業経営 (Small Business Series) のタイトルは「設置と運営」(Establishing and Operating) ではじまり、小企業を設置運営するさいに必要な経営上の問題についての情報を提供した。当初、陸軍省の要請により陸軍省が費用を負担して、商務省国外内商業局 (Bureau of Foreign and Domestic Commerce, Department of Commerce) がそれぞれの業界団体の支援を受けて*EM979 Establishing and Operating an Apparel Store*から*EM998 Establishing and Operating a Variety and General Merchandise Store*までの20タイトルを作成したが⁽⁹⁰⁾、1946年1月の時点で8冊が未刊であった。USAFIコースでは*EM714-715 The Small Business*の併読が勧められた。商務省はその後作成したものも合わせて、41タイトルを市販した⁽⁹¹⁾。

一般教育

一般教育 (general education) や新方式のテストへの取り組みに熱心であったアメリカ教育協会が⁽⁹²⁾、アメリカカレッジ協会 (Association of American Colleges) との合同委員会で一般教育向けのカリキュラムの概要作成について検討し、1944年6月、アメリカ教育協会から報告書「軍隊隊員のための一般教育向けのひな形」(*A Design for General Education for Members of the Armed Forces*) を出版した⁽⁹³⁾。一般教育のコースとして上述の音楽や美術を含む13コースを挙げ、その具体的な課題や参考文献を提示した。EM本編集スタッフは報告書作成中からこれを参考にして、既存教科書用の補助教材としてあら

たな自習学習ガイド9タイトルを作成した⁽⁹⁴⁾。これはRR1-4 AEPの部隊学校の頃で、高校の上級2年からカレッジ2年までの一般教育を行うとしたことに対応したものであった。*EM284 Problems of American Life*のように、復員後の社会復帰も対象として、提示された2つのコース「アメリカ社会での生活の問題」(Problems of American Life)と「社会適応の問題」(Problems of Social Adjustment)を扱う教科書もあった。哲学については*EM625 Preface to Philosophy : Textbook*を自習学習ガイドとともに新たに作成しており⁽⁹⁵⁾、教科書はその後市販された⁽⁹⁶⁾。EM625以外にも外国語会話教本、小企業経営、農業のシリーズは軍での教育に使用されたばかりでなく、いずれも上述のとおり民間出版社から市販されて、広く一般人の職業訓練、語学学習に利用されたことも再度確認しておく。

読み書き算数

選択徴兵法実施後の1940年10月から1941年5月までの間に入隊したうち、6,374人が読み書きができず、さらに、約60,000人のほぼ非識字者がいたことから、1941年5月15日、4年生以下の学力の者を入隊させないこととした。しかし兵力の不足により、1942年8月、白人の10%と黒人の登録者の10%を超えない数の非識字者を入隊可能とし、さらに1943年6月1日、非識字者の制限は廃止されていた⁽⁹⁷⁾。

AEPでは、英語を母語としない兵士を含め、非識字者で入隊時に特別訓練隊 (Special Training Units) に不参加の者などを対象として、再調整規則RR1-4で規定された非識字者向けの学習を行うこととなり⁽⁹⁸⁾、*EM160 Meet Private Pete, A Soldier's Reader*が作られた。1400語で構成され、兵卒が駐屯地の生活を終えて、船で帰国し、大都市を経て、帰郷する話となっている⁽⁹⁹⁾。*EM160*、演習問題集の*EM161 Learning to Read*、簡単な四則計算のための*EM163 Arithmetic for Everyday Life*の3冊のための指導ガイド*EM162 Instructor's Guide and Lesson Plans for Literacy training*がAEP用に用意された。なお、1946年12月には新しい一連の教材*EM164-170*が発行された⁽¹⁰⁰⁾。

指導者用コース概要

AEPのUSAFIコースの指導に際し、専門家以外が指導にあたることを想定して指導者用コース概要 (*Instructor's course outline*) が考案された。それぞれのEM本に対応して作成され、序文でもコースがAEPとして実施されることが記された⁽¹⁰¹⁾。EM番号はコース番号に a を付し、タイトルはコース名であり、EM本のタイトルは本文の一般情報

WAR DEPARTMENT EDUCATION MANUAL EM 618a

Instructor's Course Outline

Ethics

COLLEGE COURSE



2 Blocks
40 Hours

UNITED STATES ARMED FORCES INSTITUTE
MADISON WISCONSIN

図12 指導者用コース概要 EM618a Ethics。EM618 Human Nature and Conduct 用。

(General Information) に記載された（図12）。内容はブロック単位で1時間ごとの授業の主題、対応する教科書の範囲（ページ）、重点、授業への示唆が表形式で示される。1954年1月に使用状況に関する調査がおこなわれており、指導者用コース概要が使用されていたことがわかるとともに、対応するEM本が当時まで使われていたことがわかる⁽¹⁰²⁾。

授業用掛図

授業用掛図（Graphic Charts）はAEP授業で指導者用コース概要の補助として、アメリカ教育協会の編集スタッフが視覚補助教材係（Visual Aids Section）を支援して作成された。57cm x 43cmの2色刷両面の掛け図数枚からなり、42コース分が作られた。使用法説明が附属し、図の対応するページや論点も示される⁽¹⁰³⁾。

VII. EM本の重版

EM本を多数調査する中で、同一タイトルのEM本の表紙意匠が複数あることがわかり、さらに、表紙意匠のほか、標題紙裏、コース修了試験案内にも同一タイトルの重版で異同が認められた。EM本発行の履歴の把握に関わる点について、以下に述べる。

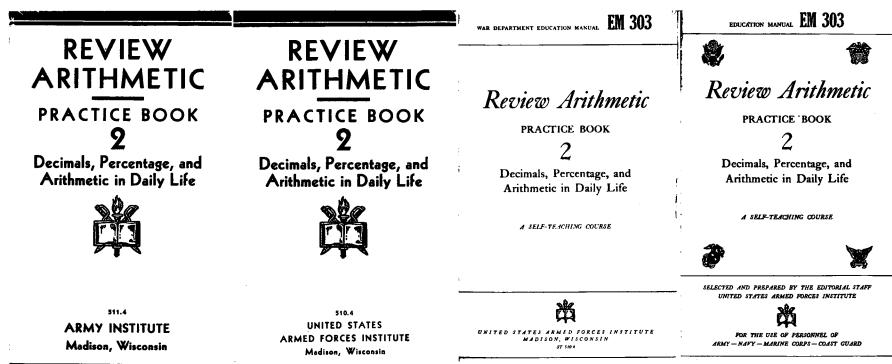


図13 EM本表紙意匠 左からI種、II種、III種、IV種

表紙意匠

表紙意匠は4種あり、I種からIV種とし、*EM303 Review Arithmetic, Practice Book 2*を例に、その違いを列記する（図13）。I種：下部に「Army Institute, Madison, Wisconsin」、II種：下部に「United States Armed Forces Institute, Madison, Wisconsin」、III種：上部に「War Department Education Manual EM303」、下部に「United States Armed Forces Institute, Madison, Wisconsin」、IV種：上部に「Education Manual EM303」、下部に「Selected and Prepared by the Editorial Staff, United States Armed Forces Institute」と「For the Use of Personnel of Army - Navy - Marine Corps - Coast Guard」と表示されていた。いずれも交叉する剣と知識のたいまつのに書物を置いた研修所の紋章を載せ⁽¹⁰⁴⁾、IV種ではほかに陸軍、沿岸警備隊、海兵隊、海軍の紋章が載る⁽¹⁰⁵⁾。I種、II種とIII種の一部では、下方に識別記号が記載される。III種、IV種は「自習用コース」（A Self-Teaching Course）と表示される。出版社名は標題紙に「Published for the United States Armed Forces Institute by World Book Company」と表示された。外国語会話教本のIV

種では、4つの紋章が表紙の左端に縦に並ぶ。時間的前後関係はI種の次に、USAFIと名称変更後のII種、次にEducation Manual命名後のIII種、次に3軍と沿岸警備隊の紋章のあるIV種となる。

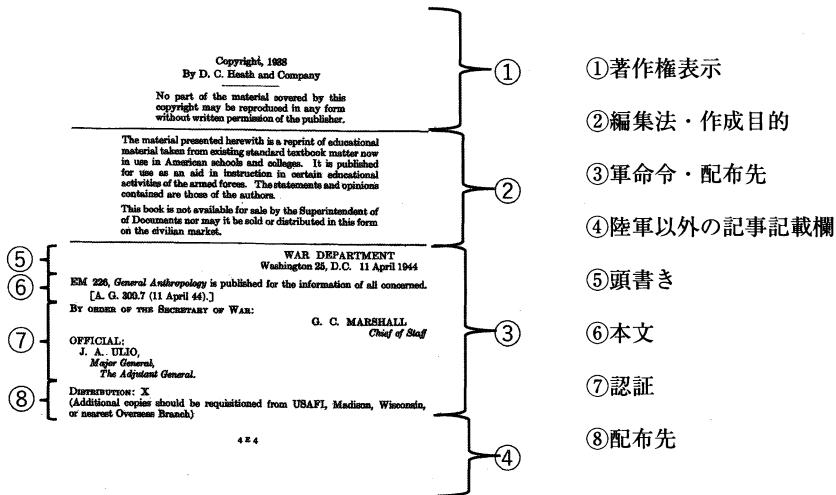


図14 EM本標題紙裏

標題紙裏

表紙意匠I種およびII種の標題紙裏は、出版社の著作権表示のみである。III種の標題紙裏の例を図に示した（図14）。①著作権、②編集法・作成目的、③軍命令・配布先、④陸軍以外の記事記載欄となっている⁽¹⁰⁶⁾。②に修訂かリプリントかの記述があり、記述がなければ新規の作成である⁽¹⁰⁷⁾。③は軍の命令形式の、⑤頭書き（heading）、⑥本文（body）、⑦認証（authentication）と⑧配布先（distribution）からなっている。1943年9月にEducation Manualとして軍の規則による出版となり、⑦副官部認証を含む③が追加された。⑤頭書きのうちの日付（date line）が認証日である⁽¹⁰⁸⁾。重版でも認証日は変更されず、例えばEM270 *American Political and Social History vol.2*はIII種とIV種とで本文が異なり、最後の41章と42章が書き換えられ、1945年4月の政府人事も記載されたが、認証日は1944年4月10日のままであった⁽¹⁰⁹⁾。認証後、発行までの期間についてUSAFI *Information Bulletin*掲載日をもとに計算すると、4ヶ月から8ヶ月と概算される⁽¹¹⁰⁾。

VIII. コース修了試験案内

第一次大戦後に教育での実績と関係なく与えた包括的単位（blanket credit）の二の舞となることをおそれ、USAFIでは復員後の教育機関への入学・復学に対応した、単位付与のための試験を用意した。科目別の試験や、高校卒業資格の代替として使用された一般教育修了検定試験（General Educational Development Test : GED Test）のほか、USAFIのコースそれぞれについてのコース修了試験（End-of-Course Test）を用意しており、部隊では非勤務時教育対応の士官に、コース修了試験応募用紙を請求していた⁽¹¹¹⁾。

コース修了試験案内記事中の非勤務時教育対応士官職名（以下、正確を期すために日本

語訳ではなく、英文表記をそのまま使用する) はEM本により異なり、以下の4組の職があった⁽¹¹²⁾(図15)。

- A. Special Service Officer, Librarian
- B. education officer, orientation officer
- C. instructor
- D. Information-Education Officer

END-OF-COURSE TESTS

When you have finished this course you are entitled to take a USAFI End-of-Course Test, and to receive a report of your score on the test. USAFI End-of-Course Tests may be obtained as follows

By students enrolled with USAFI If you received this book for individual study through enrollment in the U S. Armed Forces Institute, you may obtain the End-of-Course Test by sending an *Application for Institute Test or Examination* (ask your Information-Education Officer or your Educational Services Officer for an application blank) to the Commandant, U S. Armed Forces Institute, Madison 3, Wisconsin, or to the nearest overseas Institute Branch.

図15 表紙意匠IV種EM本のコース修了案内Dの一部。Information-Education Officerとある。

コース修了試験のない、非識字者用教材 (EM140-163)、外国語会話教本 (EM500-574)、小企業経営 (EM980-998) シリーズをのぞき⁽¹¹³⁾、調査した208タイトル301種のうち、コース修了案内にAからDの職名のある188タイトル258についてみると、表紙意匠II種は案内のある9すべてがAで、IV種は69中68の案内がDであった。III種180の案内ではA40、B31、C85、D24となっていた。案内の掲載されたEM本の標題紙裏の認証年月別件数を調べると、Aの案内では1944年3月が、Bの案内では1944年4月が、Cの案内では1944年9月が最大となっていた(図16)。

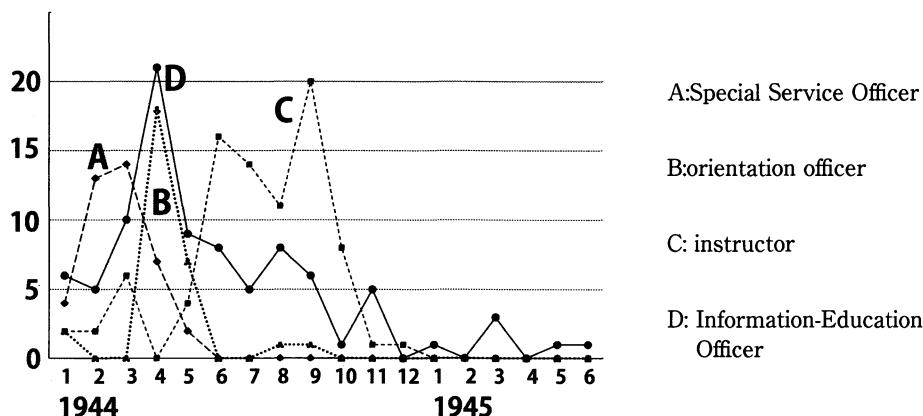


図16 コース修了案内士官職別件数の認証月による推移

士気維持が目的であるレクリエーション・福祉担当士官の沿革について調査すると、Special Service Officerは1942年1月15日にMorale BranchがSpecial Services Branchとなった時に設置され、1943年11月10日にSpecial Service Division (1942年7月20日にSpecial Services Branchから改名された) がMorale Service Divisionに変更になったと

き、新たに戦争目的を周知するためのorientation officerが設置され、それぞれがその時点で、非勤務時教育も担当し、兵士のUSAFI通信教育受講の支援をしていた⁽¹¹⁴⁾。1944年8月9日にMorale Service DivisionがInformation and Education Divisionと名称を変更したときにInformation-Education Officerが設置され、はじめて本来業務として非勤務時教育を担当した。

上記A、Bの案内のあるEM本の認証日については、職名変更がその本の原稿に反映されるまでの時間を考慮すれば、職名変更時期に対応していたといえる。Dのコース修了案内については、IV種68中50がInformation-Education Officerが設置される1944年8月以前の認証日であったことと、認証日は重版の際も変更されないことから、当初A、BまたはCのコース修了試験案内で発行されたものが重版時にDに差し替えられたと考えられる。このことはDのコース修了試験案内が表紙裏や裏表紙など、前の版で空白であったページに多く印刷されていることと、IV種で本文中にコース修了案内Aを残して(EM705)、また案内Bを残して(EM457)、別にコース修了案内Dが掲載されている例があることからも裏付けられる。CはInformation Education Officerへの変更を想定して、instructorとして特定の職名を使用しなかったと推測される。以上のことから、EM本の重版については、表紙意匠・コース修了案内中の士官職名により発行順を推定できることが明らかとなった。

このような部隊でのUSAFIコース担当士官の頻回の変更は、軍内で非勤務時教育がからならずしも正当に評価されなかったことを裏付けるが、さらにEM本のコース修了案内の担当士官名が異なったことは、USAFI受講生に混乱を生じさせたことと思われる。

IX. おわりに

本誌前号ならびに今号掲載の拙稿を完成させる道のりは平坦ではなかった。高校教師が研究活動を行う過程で資料の閲覧や調査に対し協力を得られた方々、これら善意と想像力あふれる人々の存在にどれだけ勇気づけられたことか。とりわけ、山縣元氏には英文資料を中心に全般にわたってご協力をいただいた。あらためて衷心より謝意を表したい。

最後になったが、拙稿の掲載にあたって、勝岡寛次先生には何から何までお世話になるとともに、多大なるご厚恩を頂戴した。茲に謹んで感謝申し上げる。『戦後教育史研究』が本号を以て終刊となることは残念至極としか申しようがないが、本誌の功績はその四十年に達しようとする歴史とともに、未来にわたって輝き続けるものであると確信してやまない。

注

次の略号を使用した。WD: War Department、ACE: American Council on Education。

USAFIの以下のカタログはUSAFI Catalog ○版と略記した。Catalog of the United States Armed Forces Institute: 2nd ed. 1944.3、3rd ed. 1946.7.1、4th ed. 1947.10.1、5th ed. 1949.10.5、6th ed. 1953.4.6、7th ed. 1954.4.14。なお初版はCatalog of the Army Institute (注19) である。USAFI Information Bulletinの以下の各号はUSAFI IB no.○と略記した。no.1 1945.3.1、No.2 1945.7.1、No.3 1945.10.1、supplement to No.3 1946.1.28。

注では、EM本をEM番号のみで示し、タイトルを省略した場合がある。参照用としてEM本一覧を<http://www.ongyoku.com/00EM/index.html>に掲載した。

- (1) 多田英俊,「終戦直後の「米国軍寄贈USAFI発行EM本」について—嵯峨野高女旧蔵本の発見から寄贈経緯の明確化まで—」,『戦後教育史研究』34 pp.1-21, 2021.3. EMはEducation Manualの略称であり、また、EM本を使用するコースの記号として使用された。
- (2) 小西昭之,「Tさんへ（USAFIについて）」,『通信教育月報〔長野県松本県ヶ丘高等学校通信教育部〕』第4号 pp.2-5, 1947.7: [文部省] 社会教育局調査課,『通信教育に関する参考資料 その三 - USAFIについて-』, 1946.10
- (3) 林雅代,「戦時下アメリカのジュニアカレッジにみられるアクレディテーション問題—イールズ文書「ウォータイム・レターズ」の分析—」,『アルケイア—記録・情報・歴史—』6 p.61, 2012.3
- (4) USAFI textの識別番号 (identifying number) は連続番号 (serial number) とも呼ばれ、デューイ図書分類を利用して付けられた。USAFI Catalog 2版, p.91, 1944.3および Army Service Forces, Headquarters, *Army Service Forces Manual M 209, How to Plan, Organize, and Promote an Off-Duty Education Program*, p.17, 1945.3による。
- (5) EM 945 Your Post-War Career, p.89。他に公式勤務時教育 (AEPを含む)、勤務時補助的教育 (啓蒙用映画、外国语教授など)、非公式非勤務時教育 (図書室、基地新聞、映画など) がある。ACE, *Sound Educational Credit for Military Experience, A Recommended Program*, 1943. 2, pp.4-7に、より詳細な解説が載る。
- (6) "Army's Morale Builder", *The New York Times*, 1941.9.7 : 佐藤俊之,「米国軍の仕組み 動員システム」,『欧州戦史シリーズ Vol.21 アメリカ陸軍全史』, pp.130-134, 学習研究社, 2003.1.10
- (7) American Forces Information Service and Armed Forces Radio and Television Service, *History of AFRTS "The First 50 Years"*, p5, n. d.。このFosdickのReport to the Secretary of War on the Activities of Welfare Organizations Serving with the A. E. F, 1919.6.1からの引用は、Gates, Sherwood and Williams, Harold W., "The Armed Forces", *The Annals of the American Academy of Political and Social Science* 313 p. 99, 1957.9による。
- (8) WD, *Mobilization Regulations No. 1-10 Morale*, par. 6, 1939.10.21
- (9) Pulwers, Jack Edward, *The Information and Education Programs of the Armed Forces: An Administrative and Social History, (1940-1945)*, p. 30, thesis, 1983
- (10) Goldberg, Samuel, *Army Training of Illiterates in World War II*, p.7, Bureau of Publications, Teachers College, Columbia University, 1951: "Selective Training and Service", *Higher Education and National Defense, Bulletin* no.3 p.1, 1940.9.21。
- (11) Pulwers, p.94, (注9)
- (12) Charters, W.W., *Opportunities for the Continuation of Education in the Armed Forces*, p.3. ACE, 1951。Morale Divisionは1941年3月にMorale Branchに名称が変更され、8月にJANC委員長のオズボーンがその長となった。
- (13) Joos, Martin, *Notes on the Development of the Linguistic Society of America 1924 to 1950*, p.117, Linguisitica, 1986
- (14) Benbow, Spencer D., "University of the Armed Forces", *The Journal of Educational Sociology*, 16(9) p.579, 1943.5
- (15) "Selective Service", *Higher Education and National Defense Bulletin* no. 24 p.7, 1942.3.26。 Youngの前職はPennsylvania State Collegeのcorrespondence studyのsupervisor。
- (16) WD, "Circular No. 76, 1942.2.23 Correspondence instruction available to enlisted personnel", *Compilation of War Department General Orders, Bulletins, and Circulars, supplement I, June 1, 1942*, pp.252-257, United States Goverment Printing Office

- (17) Cooley, Charles Edward, *A Study of Selected Educational Phases of the United States Armed Forces Institute*, p.18, thesis, 1947。国際通信学校の教材を使用したUSAFIの技術職業通信教育コース（記号J）はCatalog6版, 1953. 4. 6まで掲載されていた。図1はI. C. S. Staff, *Ratio and Proportion, Prepared Especially for Home Study*, serial 1979-3, Edition 1, 1940, International, Textbook Company.
- (18) "Selective Service", pp. 6-7, (注15)
- (19) WD, Services of Supply, Special Service Division, *Catalog of the Army Institute*, pp.16-35, n.d.
- (20) Houle, Cyril O. et al., *The Armed Services and Adult Education*, p.86, ACE, 1947。1946年1月に支部所在地に関する制限が解除されたが、それまでにアフリカ中東、地中海、サイパン、南太平洋支部が閉鎖された (USAFI IB no3. suppl. p.1)。
- (21) Kandel, Isaac Leon, *The Impact of the War upon American Education*, p.241, The University of North Carolina Press, 1948
- (22) Cooley p.3, (注17)
- (23) WD, *Army Regulations No. 350-3100 Military Education, United States Armed Forces Institute*, 1943.7.30
- (24) Navy Department, Bureau of Naval Personnel, *How to Learn and Like It, A Handbook for Off-Duty Hours*, pp.18-21, 1943
- (25) Cooley, pp.38-39, (注17)
- (26) Shank, Donald J., "Postwar Education of Service Personnel", *The Annals of the American Academy of Political and Social Science*, 231 p.66, 1944.1
- (27) U. S. Armed Forces Committee on Post-War Educational Opportunities for Service Personnel, *Post-War Educational Opportunities for Service Personnel*, 78th Cong. 1st sess. HR, Document no.344, pp.8-11, 1943.10
- (28) National Resources Planning Board, *Demobilization and Readjustment, Report of the Conference on Postwar Readjustment of Civilian and Military Personnel*, pp.41-46, 1943.6
- (29) Brown, Francis J., *Educational Opportunities for Veterans*, p.12, Public Affairs Press, 1946
- (30) WD, *Readjustment Regulations RR 1-4 Personnel Army Education Program*, 1944.9.15。同時にRR1-3 Personnel Athletic and Recreation Program, 15 September 1944が出されている。
- (31) Department of the Army, *The Army Almanac 1950*, p.726, United States Government Printing Office
- (32) "I&E News Letter", *Army Information Digest* 1(8) p.57-58, 1946.12
- (33) United States Army, Eighth Army, Headquarters, *Circular no. 178. Troop Information and Education*, 1947.10.28
- (34) Cooley, p.18, (注17)
- (35) Brown, Francis J., "Learning without a Teacher", *ALA Bulletin* 38(4) p.137, 1944.4
- (36) Houle, p.84, (注20)
- (37) "Army Institute", *Higher Education and National Defense Bulletin* no.28 p.5, 1942.6.2
- (38) Brown (1944), p.137, (注35)。William Ellsworth SpauldingはFrancis Trow Spauldingの弟。
- (39) "Continuing Education in the Armed Forces", *Higher Education and National Defense Bulletin* no.36 pp.3-4, 1942.10.23
- (40) Spaulding, William E. "How USAFI Teaches without Teachers", *Educational Record* 26(2) pp.86-87, 1945.4
- (41) "Paper Supply Still Tight", *The New York Times* 1944.10.19。京都府立図書館クルーガー文庫蔵のEM439 *Astronomy*、EM466 *College Physics*はどちらのタイトルでも、同じIII種2部の

- うちコース修了案内Bの本よりDの本の方が紙質が悪く変色していた。War Production BoardはUSAFIの出版物用に用紙を特別に配分した (Zook(1944) p.203 (注44))。
- (42) *USAFI Catalog* 2版, 1944.3。実際の発行は8月であった ("New USAFI Catalogue", *Higher Education and National Defense Bulletin* no.70 p.6, 1944.8.18)。
- (43) Houle, p.91, (注20)。EM本は野戦教範 (Field Manual : FM) および技術教範 (Technical Manual : TM) に倣った命名と考えられる。1945年の時点ではFMは315タイトル、TMは2430タイトルであった (WD, *FM21-6 List of Publications for Training*, pp.14-18, 53-92, 1945.1)。EM本はこのリストには掲載されない)。また、EM本とは異なり、いずれも陸軍規則でそのサイズがFMが $\frac{3}{8} \times 6\frac{3}{4}$ インチ、TMは $5\frac{7}{8} \times 9$ インチと規定されていた (*Army Regulations no. 310-10 Military Publications, General Provisions, C1, 1943.11.11*)。佐藤俊之、「教育訓練システム」,『アメリカ陸軍全史』, pp.110-115, (注6)
- (44) Zook, George F., "The President's Annual Report May 4, 1945", *Educational Record* 25(3) p.203, 1944.7。
- (45) Anderson, Clinton L., ed., "Remembering Those Who Have Made a Difference in United States Military Voluntary Education", *Department of Defense Worldwide Education Symposium July*. 2006, working paper, p.17
- (46) Houle, p.92, (注20)
- (47) Zook, George F., "The President's Annual Report, May 4, 1945", *Educational Record* 26(3) p.167, 1945.7. *USAFI IB* no.3, 1951.10.1にはじめて掲載され、p.22に"now available for certain courses"とある。
- (48) Zook(1944), p.204, (注44)
- (49) Zook(1945), p.167, (注47)
- (50) 以下のカタログによる。*USAFI IB* no.1、no.2、no.3、suppl. to no.3。*USAFI Catalog* 2版、3版、4版、5版、6版。同じEM番号で2分冊の場合は1と数えた。
- (51) EM1000 *Class-Study and Self-Teaching Courses and Materials*, n.d., U. S. Government Printing Office。表紙に "Prepared for Use in Army Education Programs" とある。EM1000は*USAFI IB* no.3 suppl. 1946.1.28に初めて掲載された。
- (52) Science Service, *How to Use Your Eyes at Night*, The Infantry Journal, 1943。10 cm x 15cm、30ページの小冊子でEM本とされた理由は不明。EM417としてガイドに掲載される (Tuttle, George P. *A Guide to the Evaluation of Educational Experiences in the Armed Services, (complete edition)*, p.25, ACE, 1946.8)。
- (53) ETO USA (European Theater of Operation, United States Army) , Communications Zone, *Progress Report, 15 April 1945*, pp. 194-195
- (54) ETO USA, Communications Zone, *Progress Report Section 1, 30 April 1945*, pp. 175-176
- (55) Cooley, p.41, (注17)
- (56) Houle, p.92, (注20)
- (57) WD, Special Staff, Special Planning Division, *Report on the Status of Demobilization and Postwar Planning*, p.1, 1944.6.30
- (58) *USAFI Catalog* 5版、6版
- (59) DA Pamphlet 20-41, *USAFI Standard Nomenclature List*, p.1., USAFI, 1953.9
- (60) *USAFI Catalog* 7版。なお、カタログは15版 (1971年3月発行) まで確認できた。
- (61) Library of Congress, *Surplus USAFI Books for Veterans*, List no.2, 1947.3.17、List no.3, 1947.5.17。List no.1 (1946.10.23) は未見。
- (62) Benbow, pp.583-584, (注14)。Spaulding (1945), pp.84-85, (注40)。USAFI東京支部の目録では、リプリント版のEM本も自習用コースとして使用している (USAFI Tokyo Branch,

Handbook of the United States Armed Forces Justitute, 1947.4)

- (63) McConaghha, Glenn L., "Behind the Scenes at USAFI", *Army Information Digest* 3(2) p.49, 1948.2
- (64) "Army Institute", pp.4-5, (注37)
- (65) Goodrich, L. Carrington, *A Short History of the Chinese People*, Harper & Brothers Publishers, 1943
- (66) Schorling, Raleigh, et al., *Learning to Compute, A Program for Self-Improvement in Fundamentals of Arithmetic, Book Two*, World Book Company, 1940
- (67) "Library Bulletin", *Military Review* 23(4) p.92, 1943.7。1943年5月以降の新着書として、陸軍研修所のEM301、EM302、EM303を挙げている。図13参照。
- (68) Dull, Charles E., *Modern Physics*, Revised, Henry Holt and Company, 1943。EM本の市販版発行を示唆する記事がある (Brown(1944), p.172, (注35))。
- (69) Welch, Roy Dickinson, *The Appreciation of Music*, revised edition, Harper & Brothers Publishers, 1945。1927年の初版の数章を改編し、譜例を修正したのみとするので使用した。
- (70) Carlson, Paul A. et al., *20th Century Bookkeeping and Accounting*, 18th edition, South-Western Publishing Company, 1940。19版は1947年、EM本の著作権表示は1943年で、Beckley(注71)の引用するEM本の原本1942年版は未見。1940年18版にも27章412ページの版と34章531ページの版があり、1章から25章がEM700、EM702、EM705に対応する。その後の1942版での増補部分がEM708 Partnerships、EM711 Corporations and Manufacturingに対応すると思われる。
- (71) Beckley, Donald K., "The Back of the Book", USAFI Offerings in Business Education, *The Journal of Business Education* 21(3) pp.42-43, 1945
- (72) Bogert, George Gleason, et al., *Introduction to Business Law*, Ginn and Company, 1941
- (73) Spaulding, William E. and Marvin, W. Ross, "Should Schools Use Self-Teaching Textbooks?" *The School Review*, 54(7) p.407, 1946.9
- (74) Boak, Arthur E. R. et al., *World History*, Houghton Mifflin Company, 1942
- (75) Craven, Thomas, ed. *A Treasury of Art Masterpieces, From the Renaissance to the Present Day*, Simon and Schuster, 1939
- (76) Bassett E.D. and Agnew, Peter L., *Business Filing*, South-Western Publishing Company, 1943。原本単独で1ドル、practice outfitとセットで2.4ドルであった。
- (77) Gemmill, Paul F. and Blodgett, Ralph H., *Economics: Principles and Problems*, revised edition, Harper & Brothers Publishers, 1942.
- (78) "Communism in Textbooks Used and Paid for by Government", US Cong. *Congressional Record*, 80th Cong., 1st sess., vol. 93, pt.10, pp.A113-A115, 1947。"Discussion of Educational Manual763", U.S. Cong., HR, *Hearings before the Subcommittee of the Committee on Appropriations, Military Establishment Appropriation Bill for 1948*, 80th Cong., 1st sess., pp.501-503, 1947
- (79) WD, Public Relations Division, Press Section, *Immediate Release, Civilian Educators Selected Economics Text Used by Services*, 1946.10.4
- (80) EM100の原本はWashburne, Carleton, ed., *Functional Grammar*、EM101は「Based on the Teaching Plan of the Winnetka Education Series」と注記されている。
- (81) "Grammar with Jive to It", *The New York Times*, 1944.1.2
- (82) Barrier, Michael, *Funnybooks, The Improbable Glories of the Best American Comic Books*, pp.66-67, University of California Press, 2015
- (83) Cowan, J Milton, "American Linguistics in Peace and at War", in Koerner, E.F.K. ed., *First*

- Person Singular II*, pp.76-78, John Benjamins Publishing Company, 1991: Hall, Robert A. Jr., "165 Broadway - A Crucial Node in American Structural Linguistics, *Historiographia Linguistica* 8(1) pp.155-156, 1991
- (84) Graves, Mortimer, "General Forward", in Kahane, Henry, et al., *Spoken Greek, Book One*, pp.ii-A - ii-D, Henry Holt and Company, 1945。 *Spoken Foreign Languages* 成立の経緯を述べたこの序文は、EM本にはない。ILPについてはCowan, pp.71-76, (注83)。Gravesの著作とするのはJoos, p.120, (注13) による。
- (85) Hall, Robert A. Jr., *Stormy Petrel in Linguistics*, pp. 63-69, Spoken Language Services, Inc. 1975。
- (86) "Education: Chinese Quick" *Time* 43(10) pp.72, 75, 1944.3.6. Cowan, pp.75-76, (注83) に詳記される。
- (87) Kendall, Raymond, "Music for the Armed Services", *The Musical Quarterly*, 31(2) p149, 1945.4。 "Music: Barbershopping Made Easy", *Time* 44(26) p.66, 1944.12.25。 EM600の最初の章は"How to Sing Barber Shop Harmony"となっている。イラストはCharles Addamsによる。
- (88) *What is Farming?*, U.S Government Printing Office, 1944.11。 "prepared by Specialists in the United States Department of Agriculture under the Editorial Supervision of Gustav E Larson"、 "This volume was purchased by the U.S. Department of Agriculture for office use" とある。
- (89) Johnson, Sherman E., *Managing a Farm*, D. Van Nostrand Company, 1946。 EM810をもとに改訂し、章を追加したとある。他に*What is Farming?*も発行している。
- (90) *EM 1000*, pp.52-60, (注51)
- (91) U. S. Department of Commerce, *Selected List of Publications*, pp. 5-6, 1951
- (92) Quinn, Lois M., "An Institutional History of the GED", p.67, in Heckman, James J. et al. ed. *The Myth of Achievement Tests, The GED and the Role of Character in American Life*, The University of Chicago Press, 2014
- (93) Committee on a Design for General Education, *A Design for General Education for Members of the Armed Forces*, American Council on Education Studies, Reports of Committees and Conferences, no. 18, 1944.6
- (94) *EM1000*, pp.6-7, (注51)
- (95) Zook(1945), p.169, (注47)
- (96) Aldrich Virgil C., "Review", *The Journal of Philosophy* 44(3) p.80, 1947.1. Hocking, William Ernst, et al., *Preface to Philosophy: Textbook*, The Macmillan Company 1946が、EM本の市販版である。
- (97) Strehlow, Louis Harold, *History of the Army General Educational Development Program: Origin, Significance, and Implications*, pp.50-54, thesis, 1967
- (98) *RR1-4*, (注30)
- (99) Witty, Paul, "Basic Education in the Army", *The Phi Delta Kappan* 28(3), p.146, 1946.11
- (100) "I&E News Letter", pp.56-57 (注32)
- (101) *EM618a Instructor's Course Outline, Ethics*, p3, U.S. Government Printing Office, 1944。 *Instructor's Course Outline*はUSAIFI IB no.3 1945.10.1に初めて掲載された。
- (102) Bradt, Kenneth H., *Use and Opinions about USAFI Instructor's Course Outlines*, Department of Defense, Office of Armed Forces Information and Education, Research Division, 1954.12
- (103) *EM221 American Economic Problems*および*EM222 Economic Geography*用掛図 (AEP

- Instructor's Aids*) が東京外国語大学図書館に所蔵される。42コース用のGraphic Chartsは USAFI IB no.3 suppl. 1946.1.28に初めて掲載された、
- (104) Benbow, p.577, (注14)
 - (105) IV種のEM本の中で、EM472は4つの紋章の配列が異なり、EM815とEM992はさらに紋章のデザインが異なり、EM996は4つの紋章がない。
 - (106) ④には、III種の一部では海軍の担当部署とEM本配布法が載り、IV種では海軍、海兵隊、沿岸警備隊の担当部署とEM本配布法が載る。
 - (107) ②の文章は"The material presented herewith is a reprint of educational material taken from existing standard textbook matter now in use in American schools and colleges."または"… is an adaptation of …"となっている。ただし、自習用教科書EM214-216、EM416、EM950-EM954は、III種では修訂とされたが、再版のIV種ではリプリントに変更された。
 - (108) 出版物の認証(authentication)についての規定は確認できなかったが、配布(distribution)の項に配布定形式(distribution formula)は認証の直後に置くとある(WD, FM21-6 *List of Publications for Training*, p.10, 1945.1)。軍命令(order)の形式は、EM901 *Military Orders* p.3による。III種の一部とIV種では、③の部分は⑤頭書きと⑥本文のうちのファイル番号(file number : [A. G. 300. 7 (年月日)] のみとなる(A. G. は副官部(Adjutant Generalの略))。EM本の⑧配布先は、X(陸軍省の指示による特別の配布(Special distribution as directed by War Department))となっている。
 - (109) Federal Loan AdministratorがJesse JonesからJohn W. Snyderに代わったことを記載するが^s (EM270 p.742)、この交替は1945年4月18日に報道された("New Loan Administrator", *The New York Times*, 1945.4.18)。重版で認証日の異なる例として、EM457(III種1944.5.4、IV種1945.12.18)、EM758(III種1944.7.18、IV種1944.6.21)があるが、本文に変更はない。
 - (110) USAFI IB no.2, 1945. 7. 1以降に掲載された外国语会話教本10タイトルと小企業経営10タイトルの認証日から掲載日までの平均日数は、それぞれ265日と238日で、さらにBulletin発行間隔を考慮し計算した。なお、認証日1945年2月1日のEM524の校正が1945年1月15日、認証日1945年8月1日のEM525の校正が1945年9月27日という例がある(Cowan Milton J., "The Whimsical Bloomfield", *Historiographia Linguistica*, 14(1/2), pp.28-31, 1987)。なお、EM524の著者I. M. Lesninは、Leonard Bloomfieldの偽名である(図7)。
 - (111) Mullane, Laura, *Bridges of Opportunity, A History of the Center of Adult Learning and Educational Credentials*, pp.1-14, ACE, 2001 : Tyler, Ralph W., "Sound Credit for Military Experience", *The Annals of the American Academy of Political and Social Science* 231 pp.58-64, 1944.1。USAFIが提供した試験の一覧は、USAFI Standard Nomenclature List, pp.17-50,(注59)に掲載されている。
 - (112) いずれの場合でも、他に海軍の非勤務時教育担当士官であるEducational Services Officerが併記されている。
 - (113) ACE, *A Supplement to the 1954 Revised Edition of "A Guide to the Evaluation of Educational Experiences in the Armed Services," issued by Commission on Accreditation of Service Experiences*, pp.22-28, ACE, 1954。ただし、EM501-EM574のうちEM560 *Latin Fundamentals*は算入した。
 - (114) Pulwers, "Appendix B, Outline of the History of Establishment of the Information and Education Division", pp.293-300, (注9)

図はすべて架蔵資料によった。EM本は黄色系や青色系などの表紙用紙を用いているが、掲載画像では可読性を主として明度の調整を行った。